

2022 年度春夏作野菜花き関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財) 日本植物調節剤研究協会 技術部

2022 年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2022 年 12 月 19 日(月)～20 日(火)に Zoom を用いた Web 会議において開催された。

この検討会には、試験場関係者 28 名、委託関係者 38 名ほか、計 80 名の参集を得て、除草剤 7 薬剤 (34 点)、生育

調節剤 3 薬剤 (16 点) について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

2022 年度春夏作野菜花き関係除草剤・生育調節剤試験 判定

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. BAH-0805 乳 ジメテナミトP:19.7% ペンディメタリン:23.1% [BASFジャパン]	ヤマノイモ	発生前の一年生雑草を対象としたヤマノイモの植付後萌芽前の土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道; 年次変動確認2年目)	実・継	実) [春夏作, 露地; 一年生雑草] ・植付後萌芽前, 雑草発生前 ・200~400mL<散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面)
	ヤマノイモ	発生前の一年生雑草を対象としたヤマノイモの植付後萌芽前の土壌処理(全面)の土壌水分条件下での薬害確認		継) ・薬量200mL, 300mL, 400mL/10aにおける効果・薬害の年次変動の確認(北海道) ・処理前および処理後の降雨条件における薬害の確認
2. Hoe-866 液 グルホシネート:18.5% [BASFジャパン]	セルリー	生育期の一年生雑草を対象とした耕起またはセルリー定植前での茎葉処理(全面)による適用性の検討(適用性2年目)	実・継	実) [春夏作; 一年生雑草] ・耕起または定植14日以前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300~500mL<散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(全面)
	セルリー	生育期の一年生雑草を対象としたセルリー生育期での茎葉処理(畦間)による適用性の検討(適用性2年目)		継) ・効果・薬害の確認(畦間処理)
	パセリ	生育期の一年生雑草を対象とした耕起またはパセリ定植前での茎葉処理(全面)による適用性の検討(適用性2年目)	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・耕起または播種14日以前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300~500mL<散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(全面) [春夏作; 一年生雑草] ・耕起または定植14日以前, 雑草生育期(草丈15cm以下) ・300~500mL<散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(全面) [春夏作; 一年生雑草] ・パセリ生育期, 雑草生育期 ・300~500mL<散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(畦間) 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する ・作物に飛散ないように散布する
	ミョウガ	生育期の一年生雑草を対象とした, ミョウガの萌芽前散布の茎葉処理(全面)による適用性の検討(適用性3年目)	継	継) ・効果・薬害の確認
	ミョウガ	生育期の一年生雑草を対象とした, ミョウガの生育期の茎葉処理(畦間)による適用性の検討(適用性3年目)		

A. 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
2. Hoe-866 液 つづき	ミツバ	生育期の一年生雑草を対象とした耕起またはミツバ播種前での茎葉処理(全面)による適用性の検討(適用性2年目)	継	継) ・効果・薬害の確認
	ミツバ	生育期の一年生雑草を対象としたミツバ生育期での茎葉処理(畦間)による適用性の検討(適用性2年目)		
3. S-482 顆粒水和 フルミオキサジン:50% [住友化学]	アスパラガス	発生前の一年生広葉雑草を対象としたアスパラガス萌芽前での土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道:適用性3年目)	実・継	実) [春夏作, 露地; 一年生広葉雑草] ・萌芽前, 雑草発生前 ・5~10g<散布水量100L>/10a ・土壌処理(全面) 継) ・効果・薬害の確認(収穫打切後)
	アスパラガス	発生前の一年生広葉雑草を対象としたアスパラガス収穫打ち切り後での土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道:適用性3年目)		
4. UPH-004 液 グルホシネート:18.5% [ユーピーエルジャパン]	スイカ	生育期の一年生雑草を対象とした耕起またはスイカ定植前の茎葉処理(全面)による適用性の検討(2年目)。	実	実) [春夏作; 一年生雑草] ・耕起または定植前, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・300~500mL<散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(全面) [春夏作; 一年生雑草] ・スイカ生育期, 雑草生育期 ・300~500mL<散布水量100~150L>/10a ・茎葉処理(畦間) 注) ・雑草の草丈30cm以下で散布する ・作物に飛散しないように散布する
	スイカ	耕起後, スイカ定植直前(定植当日もしくは前日)の茎葉処理(全面)による倍量薬害の確認(初年目)。		
	メロン	耕起後, メロン定植直前(定植当日もしくは前日)の茎葉処理(全面)による倍量薬害の確認(2年目)。	継	継) ・効果・薬害の確認
	カボチャ	生育期の一年生雑草を対象とした耕起またはカボチャ定植前の茎葉処理(全面)による適用性の検討(2年目)。	継	継) ・効果・薬害の確認
	カボチャ	生育期の一年生雑草を対象としたカボチャ生育期の茎葉処理(畦間)による適用性の検討(3年目)。		

B. 2021 年度 春夏作分 野菜関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. Hoe-866 液 グルホシネート:18.5% [BASFジャパン]	ミツバ	生育期の一年生雑草を対象とした, ミツバの生育期の茎葉処理(畦間)による適用性の検討(適用性初年目)	2022 参照	
2. S-482 顆粒水和 フルミオキサジン:50% [住友化学]	アスパラガス	発生前の一年生広葉雑草を対象としたアスパラガス収穫打ち切り後での土壌処理(全面)による適用性の検討(北海道:適用性2年目)	2022 参照	

C. 野菜関係 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. BA 液 ベンジルアミノプリン: 3.0% [クミアイ化学工業]	アスパラ ガス	立茎後3~4週間のアスパラガスに対 する萌芽促進効果・葉害の検討。	実・継	実) [露地・施設普通;萌芽促進効果による増収効果] ・慣行最終収穫予定日10~30日前 ・300倍<100~200L>/10a ・茎葉散布 注) ・若茎にかかると奇形になる場合がある。 ・翌春の収量が減ることがある 継) ・効果・葉害の確認(立茎3~4, 7~8, 11~12週間後 処理, 萌芽促進効果)
	アスパラ ガス	立茎後7~8週間のアスパラガスに対 する萌芽促進効果・葉害の検討。		
	アスパラ ガス	立茎後11~12週間のアスパラガスに 対する萌芽促進効果・葉害の検討。		

C. 春夏作分 花き関係 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. KT-30S 液 ホルクロルフェニユロ ン:0.1% [住友化学]	ユリ	切花品質向上	継	継) ・効果・葉害の確認
2. SL-950 乳 ニコスルブロン:4.0% [石原産業 石原バイオサイエンス]	ツツジ・ サツキ	生育期のチガヤの伸長抑制を目的と したサツキに対する適用性の検討	継	継) ・効果・葉害の確認
	ツバキ・ サザンカ	生育期のチガヤの伸長抑制を目的と したヤブツバキに対する適用性の検 討	継	継) ・効果・葉害の確認
	ツバキ・ サザンカ	生育期のチガヤの伸長抑制を目的と したサザンカに対する適用性の検討		
	アベリア	生育期のチガヤの伸長抑制を目的と したアベリアに対する適用性の検討	継	継) ・効果・葉害の確認
	イヌツゲ	生育期のチガヤの伸長抑制を目的と したイヌツゲに対する適用性の検討	継	継) ・効果・葉害の確認
	ドウダン ツツジ	生育期のチガヤの伸長抑制を目的と したドウダンツツジに対する適用性 の検討	継	継) ・効果・葉害の確認